

ちば

令和5年度

第65回

県政に関する世論調査

報告書

令和6年1月

千葉県

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

(1) 県民意識調査

- ・ 環境と生活について
- ・ 健康について
- ・ 福祉について
- ・ 観光について
- ・ 県の農林水産物について
- ・ 防災に関する取組について
- ・ 公金のキャッシュレス化の推進について
- ・ 生涯学習について
- ・ SDGs等について
- ・ 県の魅力について
- ・ 広報について
- ・ ちばアクアラインマラソンについて

(2) 県政への要望

3. 調査の設計

(1) 調査地域 千葉県全域

(2) 調査対象 満18歳以上の個人

(3) 標本数 3,000人

(4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

(5) 調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用
(郵送配付－郵送・オンライン回収)

(6) 調査時期 令和5年8月22日～令和5年9月15日

4. 調査機関

株式会社マーケティングリサーチサービス

5. 回収結果

標本数 (A)	3,000件
総回収数 (B)	1,565件
有効回収数 (C)	1,561件
うちネット回収数	485件
無効回収数	4件
うちネット回収数	0件
回収率 (B/A)	52.17%
有効回収率 (C/A)	52.03%

標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の個人
 標本数 : 3,000人
 地点数 : 市部 194地点
 郡部 6地点
 計 200地点
 抽出法 : 層化二段無作為抽出法

[層 化]

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
 さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
 令和5年4月1日現在市制施行の
 地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和4年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

[抽出]

1. 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 2. 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
 を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,071,623	0	1,071,623
	600	0	600
	40	0	40
②葛南地域	1,435,249	0	1,435,249
	795	0	795
	53	0	53
③東葛飾地域	1,300,761	0	1,300,761
	720	0	720
	48	0	48
④印旛地域	581,585	35,790	617,375
	330	15	345
	22	1	23
⑤香取地域	64,461	29,346	93,807
	30	15	45
	2	1	3
⑥海匝地域	137,114	0	137,114
	75	0	75
	5	0	5
⑦山武地域	135,948	39,714	175,662
	75	15	90
	5	1	6
⑧長生地域	76,869	51,185	128,054
	45	30	75
	3	2	5
⑨夷隅地域	47,265	14,171	61,436
	30	15	45
	2	1	3
⑩安房地域	99,920	6,521	106,441
	60	0	60
	4	0	4
⑪君津地域	278,876	0	278,876
	150	0	150
	10	0	10
計	5,229,671	176,727	5,406,398
	2,910	90	3,000
	194	6	200

（注）上段は満18歳以上の人口（令和4年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
① 千葉地域	千葉市中央区今井3丁目	15	① 千葉地域	市原市妙香	15
	千葉市中央区寒川町3丁目	15		市原市辰巳台西2丁目	15
	千葉市中央区蘇我1丁目	15		市原市五井西2丁目	15
	千葉市中央区椿森5丁目	15		市原市ちはら台南2丁目	15
	千葉市中央区登戸5丁目	15		市川市市川南4丁目	15
	千葉市中央区松ヶ丘町	15		市川市大洲4丁目	15
	千葉市中央区都町8丁目	15		市川市南八幡1丁目	15
	千葉市花見川区朝日ヶ丘4丁目	15		市川市宮久保1丁目	15
	千葉市花見川区こてはし台5丁目	15		市川市中山2丁目	15
	千葉市花見川区千種町	15		市川市国分2丁目	15
	千葉市花見川区幕張町1丁目	15		市川市北国分2丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷7丁目	15		市川市下貝塚1丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛台町	15	市川市原木3丁目	15	
	千葉市稲毛区小仲台7丁目	15	市川市奉免町	15	
	千葉市稲毛区千草台1丁目	15	市川市欠真間1丁目	15	
	千葉市稲毛区弥生町	15	市川市南行徳3丁目	15	
	千葉市若葉区小倉台3丁目	15	市川市新浜1丁目	15	
	千葉市若葉区北大宮台	15	市川市幸2丁目	15	
	千葉市若葉区千城台北1丁目	15	② 葛南地域	船橋市東船橋7丁目	15
	千葉市若葉区都賀4丁目	15		船橋市日の出2丁目	15
	千葉市若葉区みつわ台3丁目	15		船橋市海神2丁目	15
	千葉市緑区越智町	15		船橋市西船7丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘1丁目	15		船橋市本中山4丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野1丁目	15		船橋市前貝塚町	15
	千葉市緑区おゆみ野中央6丁目	15		船橋市藤原8丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘東5丁目	15		船橋市夏見1丁目	15
	千葉市美浜区打瀬2丁目	15		船橋市金杉1丁目	15
	千葉市美浜区高洲4丁目	15		船橋市二和東6丁目	15
	千葉市美浜区真砂4丁目	15		船橋市南三咲3丁目	15
	市原市島野	15		船橋市咲が丘1丁目	15
	市原市五井東1丁目	15		船橋市前原西3丁目	15
	市原市八幡	15		船橋市二宮1丁目	15
	市原市菊間	15	船橋市三山3丁目	15	
	市原市迎田	15	船橋市田喜野井5丁目	15	
	市原市青葉台8丁目	15	船橋市芝山2丁目	15	
	市原市光風台4丁目	15	船橋市松が丘1丁目	15	

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
② 葛南地域	船橋市大穴南5丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市岩名	15
	船橋市西習志野3丁目	15		野田市尾崎	15
	船橋市習志野台8丁目	15		野田市次木	15
	習志野市谷津2丁目	15		柏市明原4丁目	15
	習志野市袖ヶ浦1丁目	15		柏市大室	15
	習志野市藤崎5丁目	15		柏市北柏3丁目	15
	習志野市新栄1丁目	15		柏市新逆井1丁目	15
	習志野市実籾1丁目	15		柏市高田	15
	八千代市大和田	15		柏市豊四季台1丁目	15
	八千代市麦丸	15		柏市西原1丁目	15
	八千代市下市場2丁目	15		柏市東柏2丁目	15
	八千代市米本団地	15		柏市増尾台2丁目	15
	八千代市八千代台東5丁目	15		柏市南柏1丁目	15
	八千代市八千代台北11丁目	15		柏市増尾	15
	八千代市緑が丘1丁目	15		柏市逆井4丁目	15
	八千代市勝田台北2丁目	15		柏市高柳	15
	浦安市猫実2丁目	15		流山市加4丁目	15
	浦安市富士見4丁目	15		流山市南流山1丁目	15
	浦安市入船2丁目	15		流山市美原3丁目	15
	浦安市舞浜2丁目	15		流山市芝崎	15
浦安市高洲5丁目	15	流山市青田	15		
③ 東葛飾地域	松戸市大橋	15	流山市おおたかの森北2丁目	15	
	松戸市河原塚	15	我孫子市根戸	15	
	松戸市古ヶ崎3丁目	15	我孫子市寿2丁目	15	
	松戸市小金原8丁目	15	我孫子市東我孫子2丁目	15	
	松戸市新作	15	我孫子市湖北台7丁目	15	
	松戸市千駄堀	15	我孫子市布佐	15	
	松戸市常盤平5丁目	15	我孫子市南新木2丁目	15	
	松戸市二十世紀が丘柿の木町	15	鎌ヶ谷市東道野辺7丁目	15	
	松戸市東平賀	15	鎌ヶ谷市富岡2丁目	15	
	松戸市牧の原2丁目	15	鎌ヶ谷市初富本町1丁目	15	
	松戸市三ヶ月	15	④ 印旛地域	成田市美郷台1丁目	15
	松戸市稔台7丁目	15		成田市大袋	15
	松戸市和名ヶ谷	15		成田市公津の杜4丁目	15
	松戸市五香4丁目	15		佐倉市鍋山町	15
	野田市上花輪	15		佐倉市臼井	15
	野田市清水公園東2丁目	15		佐倉市南臼井台	15
	野田市山崎	15		佐倉市西志津8丁目	15

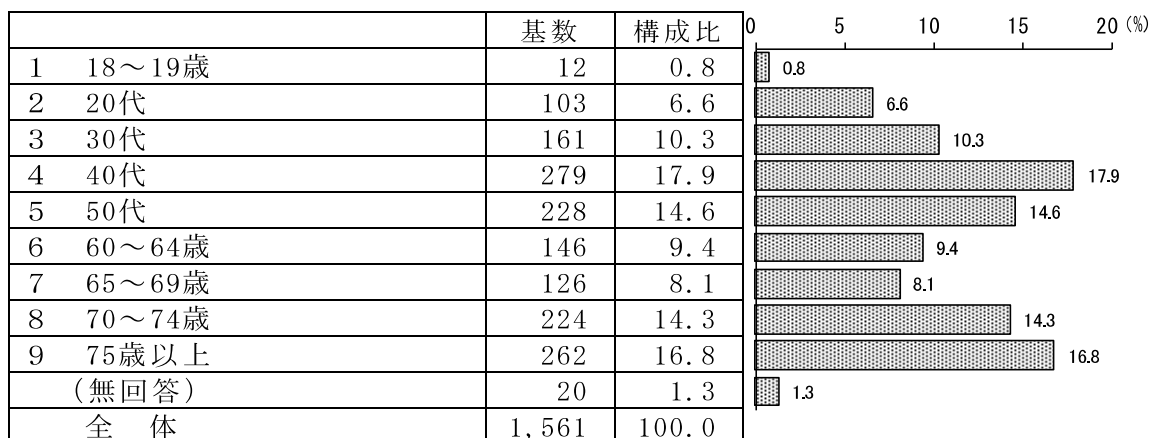
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	佐倉市宮ノ台4丁目	15	⑦ 山武地域	山武市草深	15
	佐倉市太田	15		大網白里市永田	15
	佐倉市染井野1丁目	15		大網白里市南今泉	15
	四街道市下志津新田	15		山武郡横芝光町宮川	15
	四街道市山梨	15	⑧ 長生地域	茂原市茂原	15
	四街道市みそら2丁目	15		茂原市新小巒	15
	四街道市池花2丁目	15		茂原市緑ヶ丘5丁目	15
	八街市文違	15		長生郡一宮町新地	15
	印西市木下南2丁目	15	⑨ 夷隅地域	長生郡白子町関	15
	印西市木刈1丁目	15		勝浦市部原	15
	印西市牧の原3丁目	15		いすみ市日在	15
	印西市萩埜／安食卜杭	15	⑩ 安房地域	夷隅郡御宿町高山田	15
	白井市清水口2丁目	15		館山市館山	15
	白井市野口	15		館山市正木	15
	富里市立沢	15		鴨川市東町	15
印旛郡栄町須賀	15		南房総市吉沢	15	
⑤ 香取地域	香取市下小野	15	⑪ 君津地域	木更津市中央3丁目	15
	香取市佐原イ	15		木更津市太田1丁目	15
	香取郡多古町多古新町	15		木更津市港南台1丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市長崎町	15		木更津市清見台東1丁目	15
	銚子市栄町2丁目	15		木更津市若葉町	15
	銚子市野尻町	15		君津市壱師4丁目	15
	旭市新町	15		君津市人見1丁目	15
	匝瑺市八日市場ホ	15		君津市泉	15
⑦ 地山域武	東金市東上宿	15		富津市中	15
	東金市福俵	15		袖ヶ浦市蔵波台4丁目	15

回答者の属性

1. 性



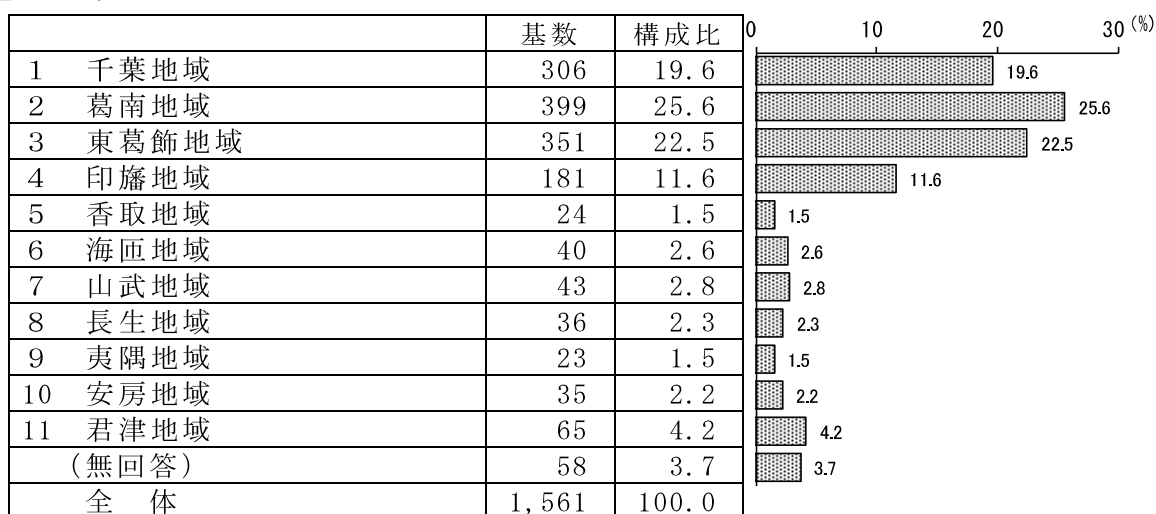
2. 年 代



3. 職 業



4. 地 域



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （1）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （2）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率はnの件数を100%として算出した。
- （3）1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （4）複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （5）回答の基数（サンプル数）が少ない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合がある。また、派生的設問において、基数が少ない属性が多い場合は、解説を行わない場合がある。
- （6）地域別、性・年代別の解説において、全体の数値との差が認められる確率が一定の基準を超えない属性の数値については、触れていない場合がある。
- （7）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{2(N-1)} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

【地域別】

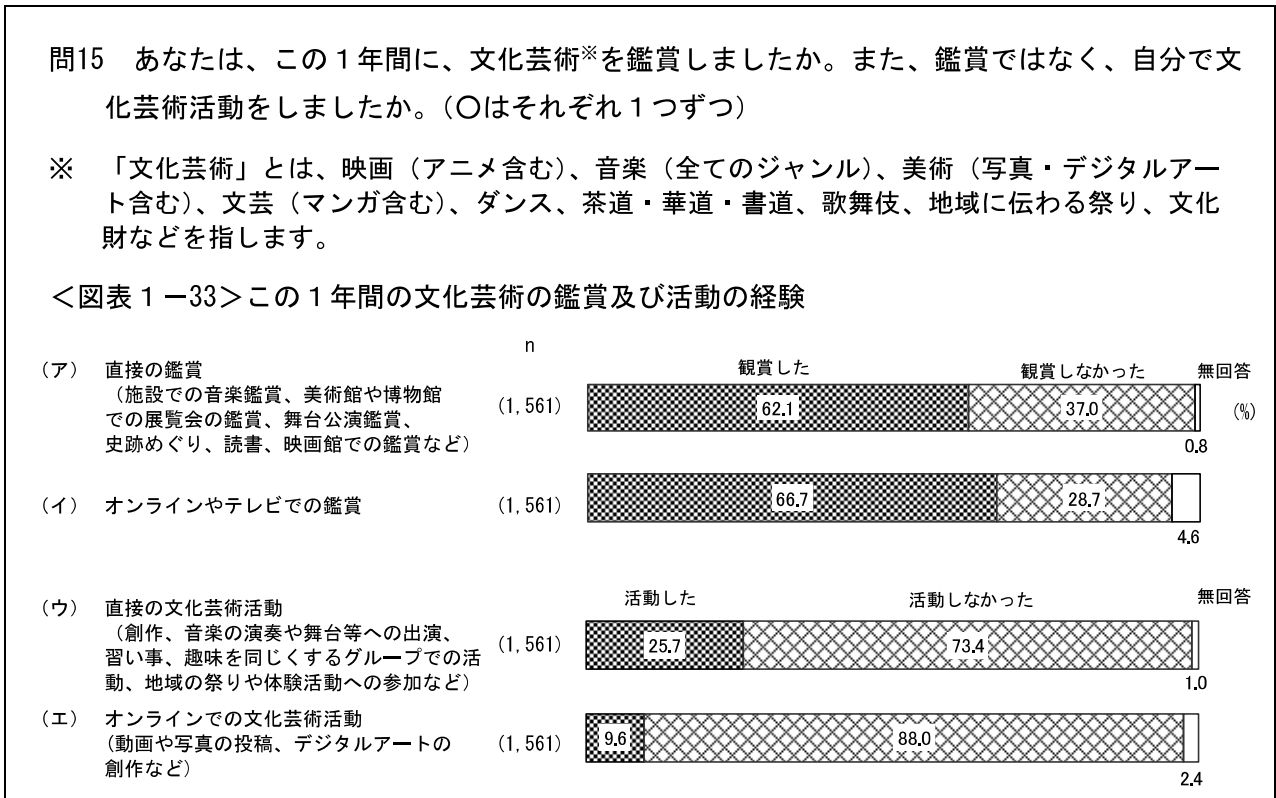
回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
		総数	1,561人	± 2.15	± 2.86	± 3.28
千葉地域	306	± 4.85	± 6.47	± 7.41	± 7.92	± 8.08
葛南地域	399	± 4.25	± 5.66	± 6.49	± 6.94	± 7.08
東葛飾地域	351	± 4.53	± 6.04	± 6.92	± 7.40	± 7.55
印旛地域	181	± 6.31	± 8.41	± 9.63	± 10.30	± 10.51
香取地域	24	± 17.32	± 23.09	± 26.45	± 28.28	± 28.86
海匝地域	40	± 13.41	± 17.89	± 20.49	± 21.91	± 22.36
山武地域	43	± 12.94	± 17.25	± 19.76	± 21.13	± 21.56
長生地域	36	± 14.14	± 18.85	± 21.60	± 23.09	± 23.57
夷隅地域	23	± 17.69	± 23.59	± 27.02	± 28.89	± 29.48
安房地域	35	± 14.34	± 19.12	± 21.91	± 23.42	± 23.90
君津地域	65	± 10.52	± 14.03	± 16.07	± 17.18	± 17.54

【性・年代別】

回答比率（P） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後	
総 数	1,561人	± 2.15	± 2.86	± 3.28	± 3.51	± 3.58
男性（計）	655	± 3.32	± 4.42	± 5.06	± 5.41	± 5.53
男性18～19歳	6	± 34.64	± 46.19	± 52.91	± 56.57	± 57.73
男性20代	35	± 14.34	± 19.12	± 21.91	± 23.42	± 23.90
男性30代	58	± 11.14	± 14.85	± 17.02	± 18.19	± 18.57
男性40代	111	± 8.05	± 10.74	± 12.30	± 13.15	± 13.42
男性50代	83	± 9.31	± 12.42	± 14.23	± 15.21	± 15.52
男性60～64歳	69	± 10.21	± 13.62	± 15.60	± 16.68	± 17.02
男性65～69歳	58	± 11.14	± 14.85	± 17.02	± 18.19	± 18.57
男性70～74歳	110	± 8.09	± 10.78	± 12.36	± 13.21	± 13.48
男性75歳以上	125	± 7.59	± 12.42	± 11.59	± 15.21	± 12.65
女性（計）	883	± 2.86	± 3.81	± 4.36	± 4.66	± 4.76
女性18～19歳	6	± 34.64	± 46.19	± 52.91	± 56.57	± 57.73
女性20代	66	± 10.44	± 13.92	± 15.95	± 17.05	± 17.41
女性30代	103	± 8.36	± 11.15	± 12.77	± 13.65	± 13.93
女性40代	167	± 6.56	± 10.12	± 11.59	± 12.39	± 12.65
女性50代	145	± 7.05	± 9.39	± 10.76	± 11.51	± 11.74
女性60～64歳	76	± 9.73	± 12.97	± 14.86	± 15.89	± 16.22
女性65～69歳	68	± 10.29	± 13.72	± 15.72	± 16.80	± 17.15
女性70～74歳	114	± 7.95	± 10.59	± 12.14	± 12.97	± 13.24
女性75歳以上	137	± 7.25	± 9.66	± 11.07	± 11.84	± 12.08

(15) この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験

◇鑑賞は〈オンラインやテレビ〉が6割台半ば、活動は〈直接〉が2割台半ば

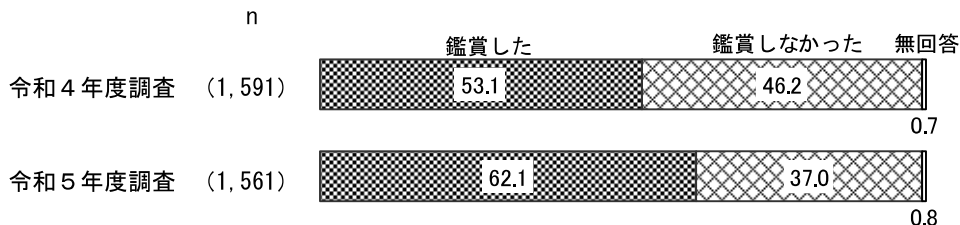


この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験を聞いたところ、鑑賞については「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」(66.7%)が6割台半ば、「(ア) 直接の鑑賞」(62.1%)が6割を超えており、(ア)か(イ)いずれか、又はその両方を通じて鑑賞した県民の割合は76.7%となった。

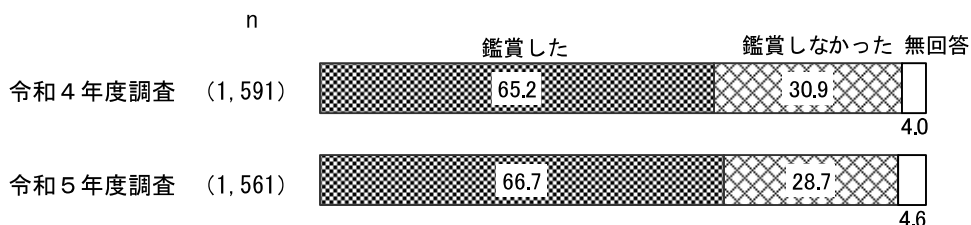
活動については「(ウ) 直接の文化芸術活動」(25.7%)が2割台半ば、「(エ) オンラインでの文化芸術活動」(9.6%)が約1割となっており(図表1-33)、(ウ)か(エ)いずれか、又はその両方を通じて活動した県民の割合は28.0%となった。

[参考]令和4年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

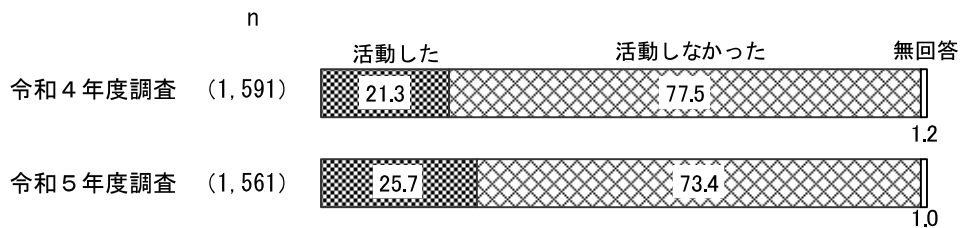
(ア) 直接の鑑賞(施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での展示会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、読書、映画館での鑑賞など)



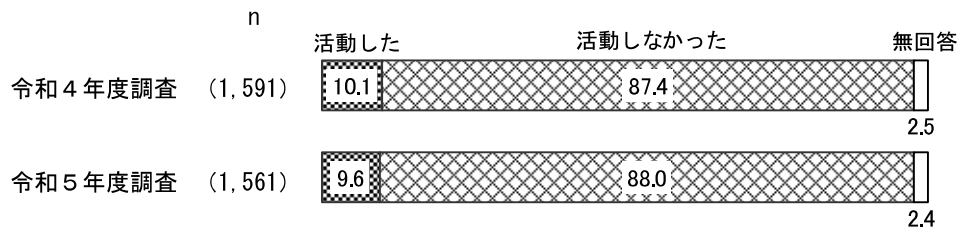
(イ) オンラインやテレビでの鑑賞



(ウ) 直接の文化芸術活動（創作、音楽の演奏や舞台等への出演、習い事、趣味を同じくするグループでの活動、地域の祭りや体験活動への参加など）



(エ) オンラインでの文化芸術活動（動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など）



【地域別】

地域別にみると、鑑賞について「(ア) 直接の鑑賞」で「鑑賞した」は“東葛飾地域” (67.5%) が約7割で高くなっている。

一方、「鑑賞しなかった」は“長生地域” (55.6%) が5割台半ばで高くなっている。

「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」は大きな傾向の違いはみられない。

活動については、「(ウ) 直接の文化芸術活動」、「(エ) オンラインでの文化芸術活動」とともに大きな傾向の違いはみられない。(図表1-34)

【性・年代別】

性・年代別にみると、鑑賞について「(ア) 直接の鑑賞」で「鑑賞した」は女性の20代 (83.3%) が8割を超え、女性の30代 (77.7%) が約8割、女性の40代 (74.9%) が7割台半ば、女性の50代 (72.4%) が7割を超えて高くなっている。

一方、「鑑賞しなかった」は女性の75歳以上 (51.1%) が5割を超え、男性の75歳以上 (50.4%) と女性の70～74歳 (50.0%) が5割で高くなっている。

「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」で「鑑賞した」は女性の20代 (86.4%) と男性の20代 (85.7%) が8割台半ば、女性の30代 (78.6%)、女性の50代 (78.6%)、男性の50代 (77.1%) が約8割、女性の40代 (76.6%) が7割台半ばで高くなっている。

一方、「鑑賞しなかった」は男性の70～74歳 (40.9%) と女性の75歳以上 (40.1%) が4割、女性の70～74歳 (38.6%) と男性の75歳以上 (38.4%) が約4割で高くなっている。

活動について「(ウ) 直接の文化芸術活動」で「活動した」は女性の20代 (36.4%) と女性の75歳以上 (34.3%) が3割台半ばで高くなっている。

一方、「活動しなかった」は男性の60～64歳 (88.4%) が約9割で高くなっている。

「(エ) オンラインでの文化芸術活動」で「活動した」は女性の20代 (34.8%) が3割台半ば、男性の50代 (21.7%) が2割を超えて高くなっている。

一方、「活動しなかった」は女性の40代 (92.8%) が9割を超えて高くなっている。

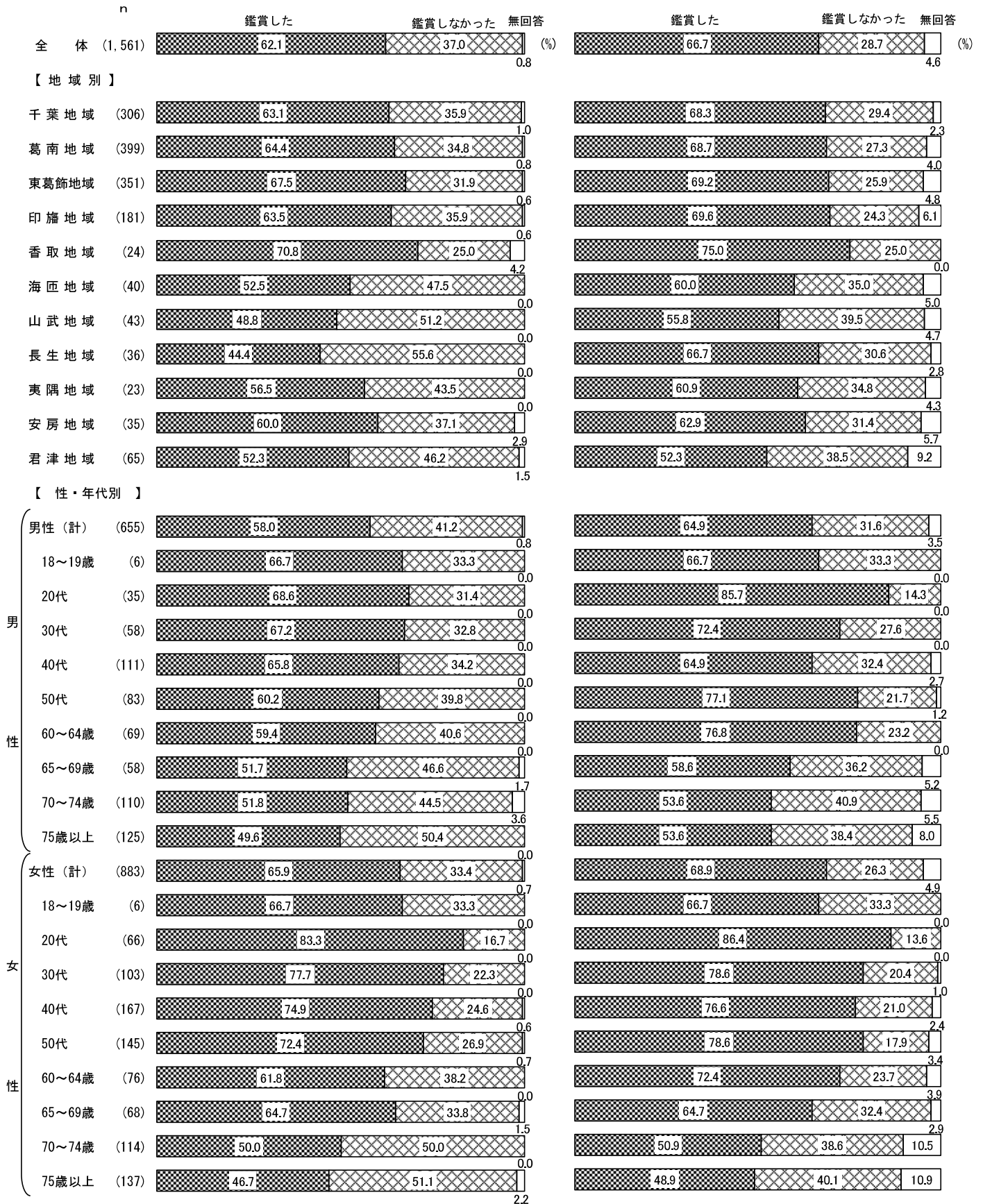
(図表1-34)

<図表1-34>この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験／地域別、性・年代別

(ア) 直接の鑑賞

(イ) オンラインやテレビでの鑑賞

(施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での
展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、
読書、映画館での鑑賞など)

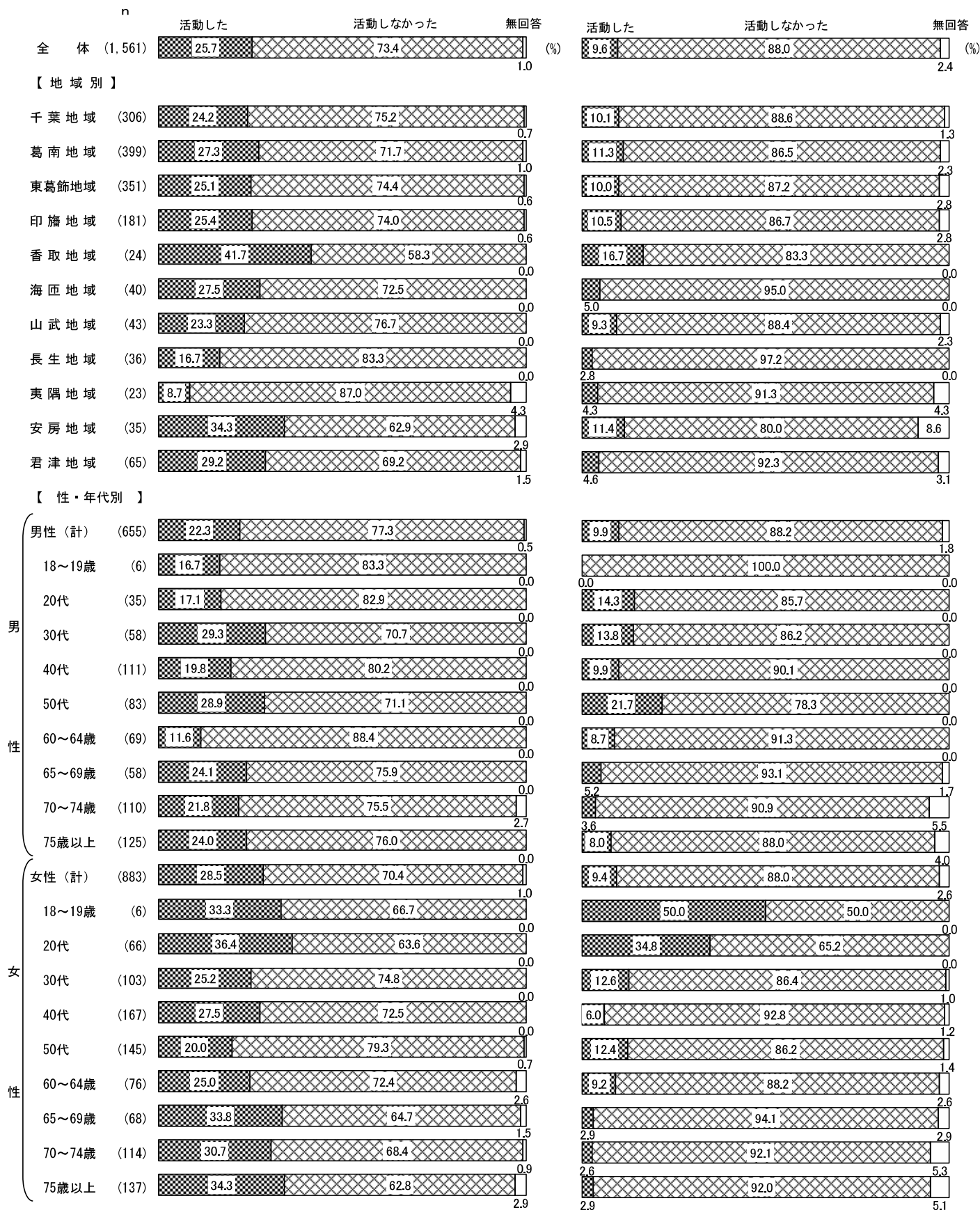


(ウ) 直接の文化芸術活動

(創作、音楽の演奏や舞台等への出演、習い事、趣味を同じくするグループでの活動、地域の祭りや体験活動への参加など)

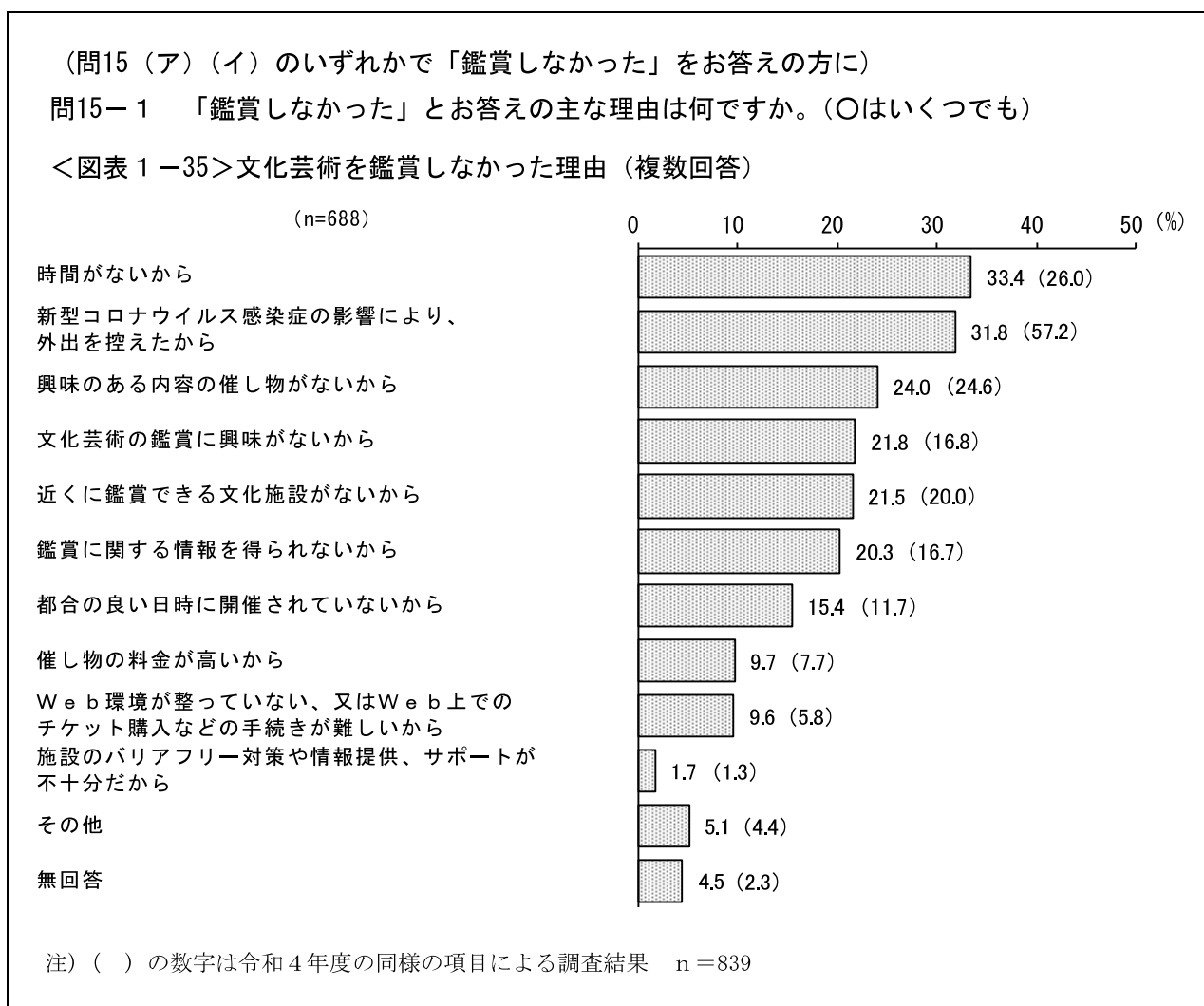
(エ) オンラインでの文化芸術活動

(動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など)



（15－1）文化芸術を鑑賞しなかった理由

◇「時間がないから」が3割を超える



この1年間の文化芸術の鑑賞について、直接またはオンラインやテレビで鑑賞しなかったと回答した688人を対象に、鑑賞しなかった理由を聞いたところ、「時間がないから」(33.4%)が3割を超えて最も高く、以下、「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」(31.8%)、「興味のある内容の催し物がないから」(24.0%)、「文化芸術の鑑賞に興味がないから」(21.8%)が続く。(図表1－35)

【地域別】

地域別にみると、は大きな傾向の違いはみられない。(図表1－36)

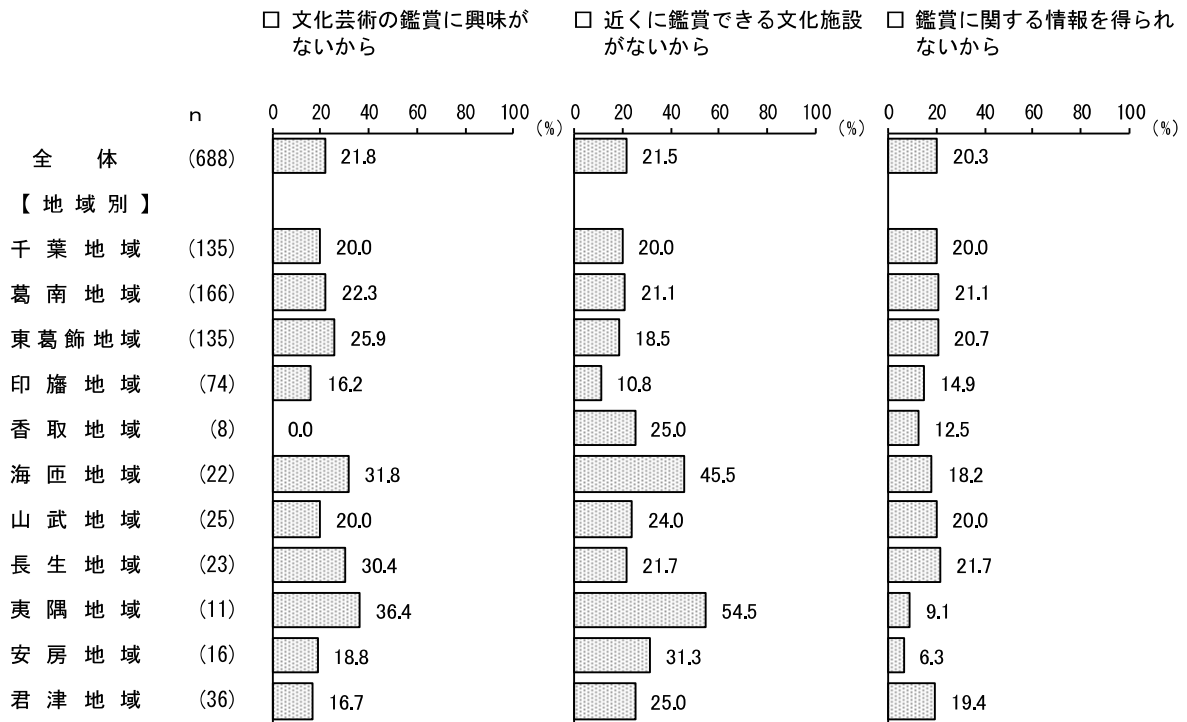
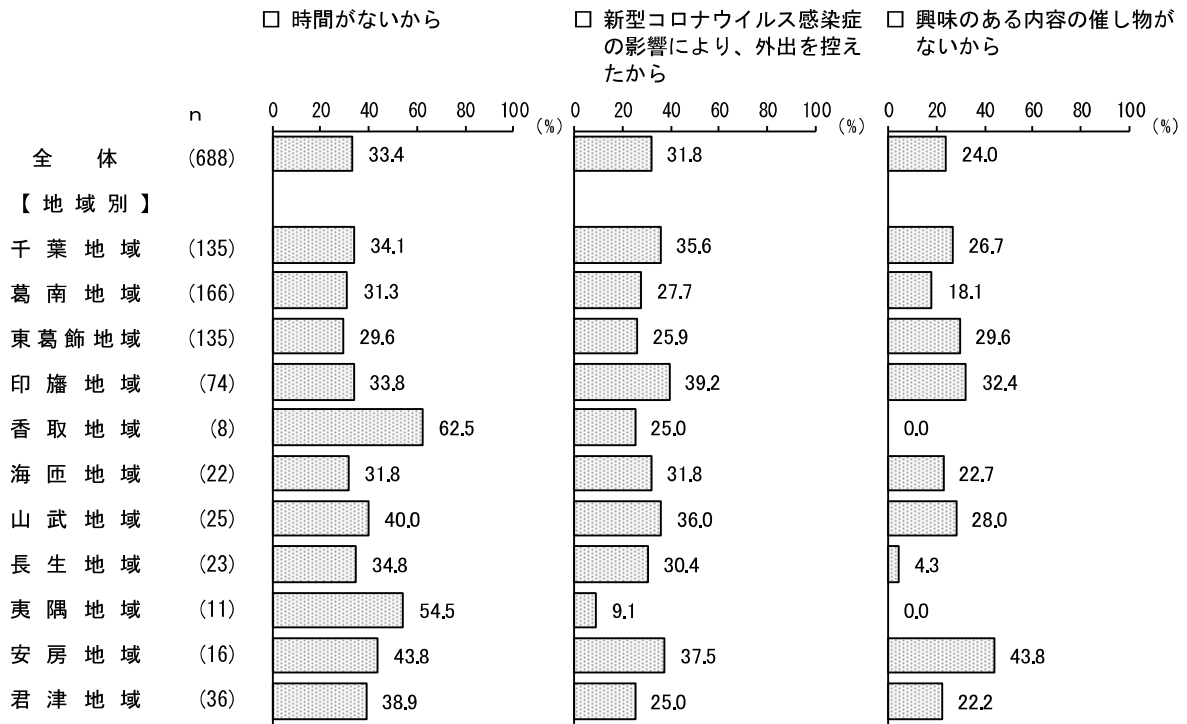
【性・年代別】

性・年代別にみると、「時間がないから」は女性の60～64歳(58.1%)が約6割で高くなっている。

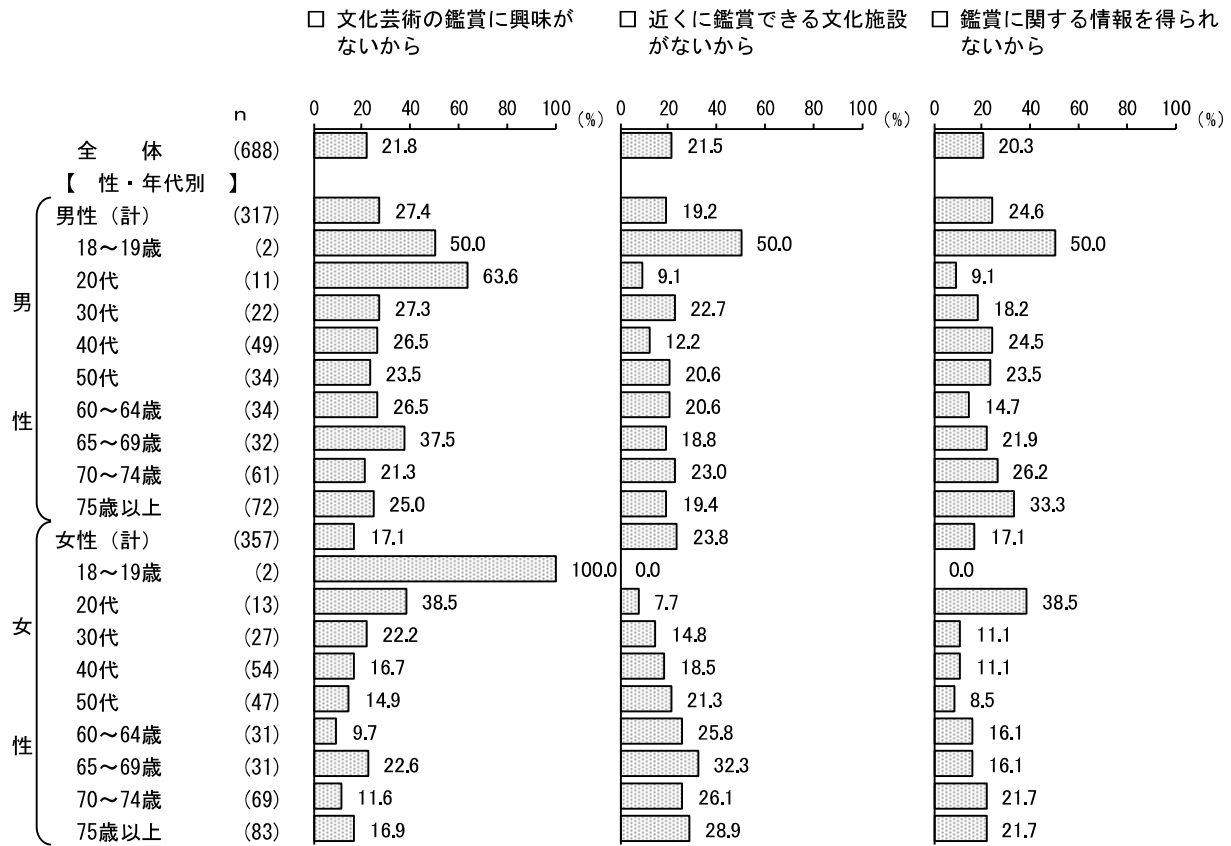
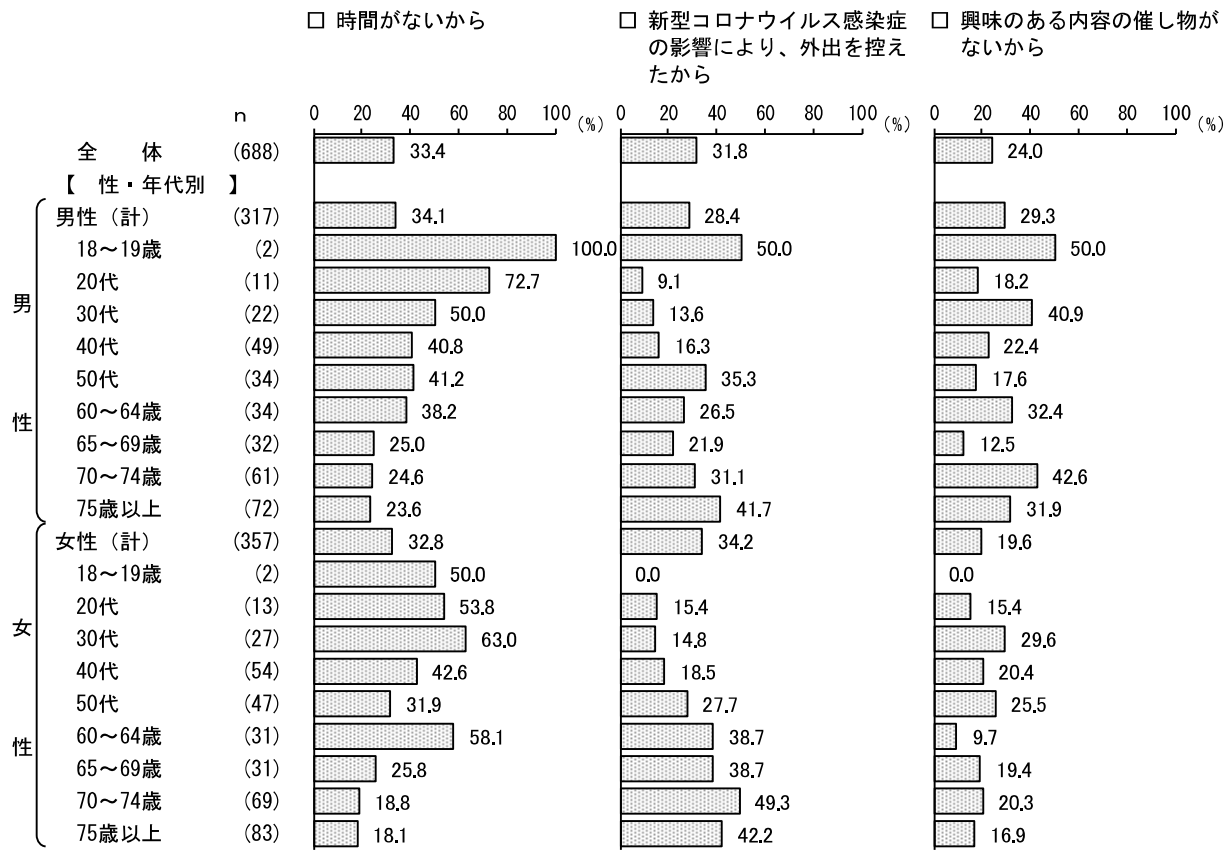
「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」は女性の70～74歳(49.3%)が約5割、女性の75歳以上(42.2%)が4割を超えて高くなっている。

「興味のある内容の催し物がないから」は男性の70～74歳(42.6%)が4割を超えて高くなっている。(図表1－36)

<図表 1-36>文化芸術を鑑賞しなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



第65回県政に関する世論調査（R5年度）



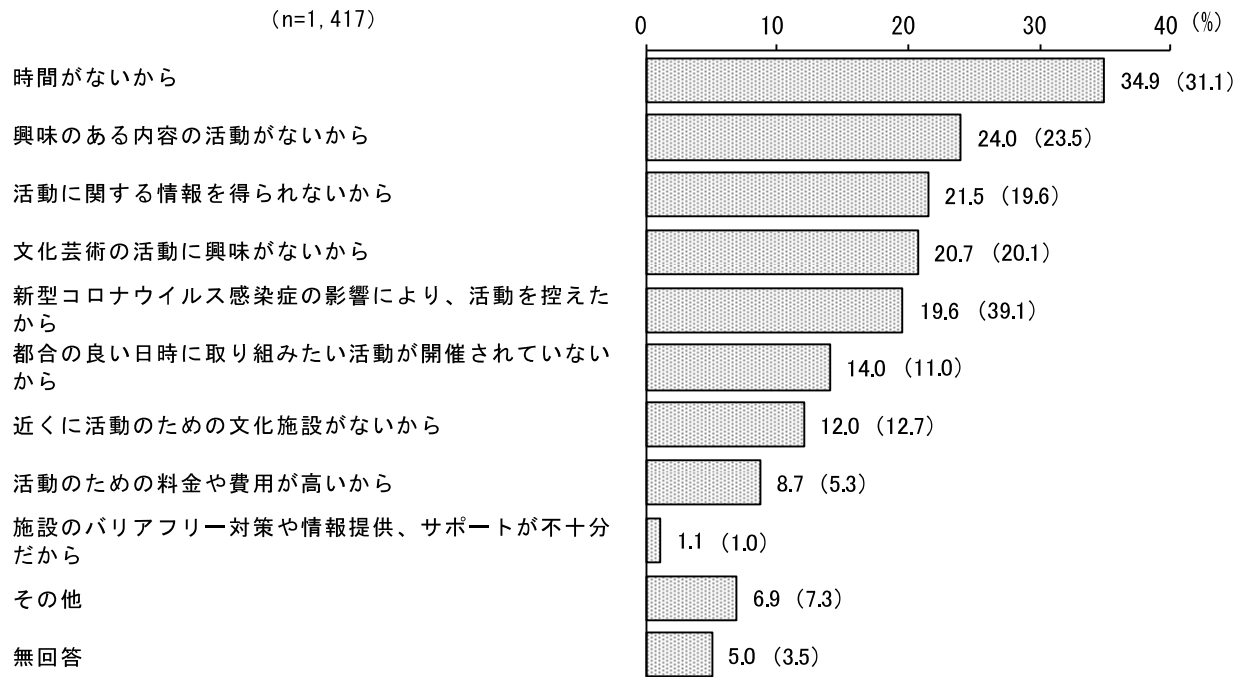
（15－2）文化芸術活動をしなかった理由

◇「時間がないから」が3割台半ば

（問15（ウ）（エ）のいずれかで「活動しなかった」をお答えの方に）

問15－2 「活動しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表 1－37＞文化芸術活動をしなかった理由（複数回答）



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,446

この1年間の文化芸術活動について、直接またはオンラインで活動しなかったと回答した1,417人を対象に、活動しなかった理由を聞いたところ、「時間がないから」(34.9%)が3割台半ばで最も高く、以下、「興味のある内容の活動がないから」(24.0%)、「活動に関する情報を得られないから」(21.5%)、「文化芸術の活動に興味がないから」(20.7%)が続く。(図表1－37)

【地域別】

地域別にみると、「興味のある内容の活動がないから」は“千葉地域”(30.2%)が3割で高くなっている。(図表1－38)

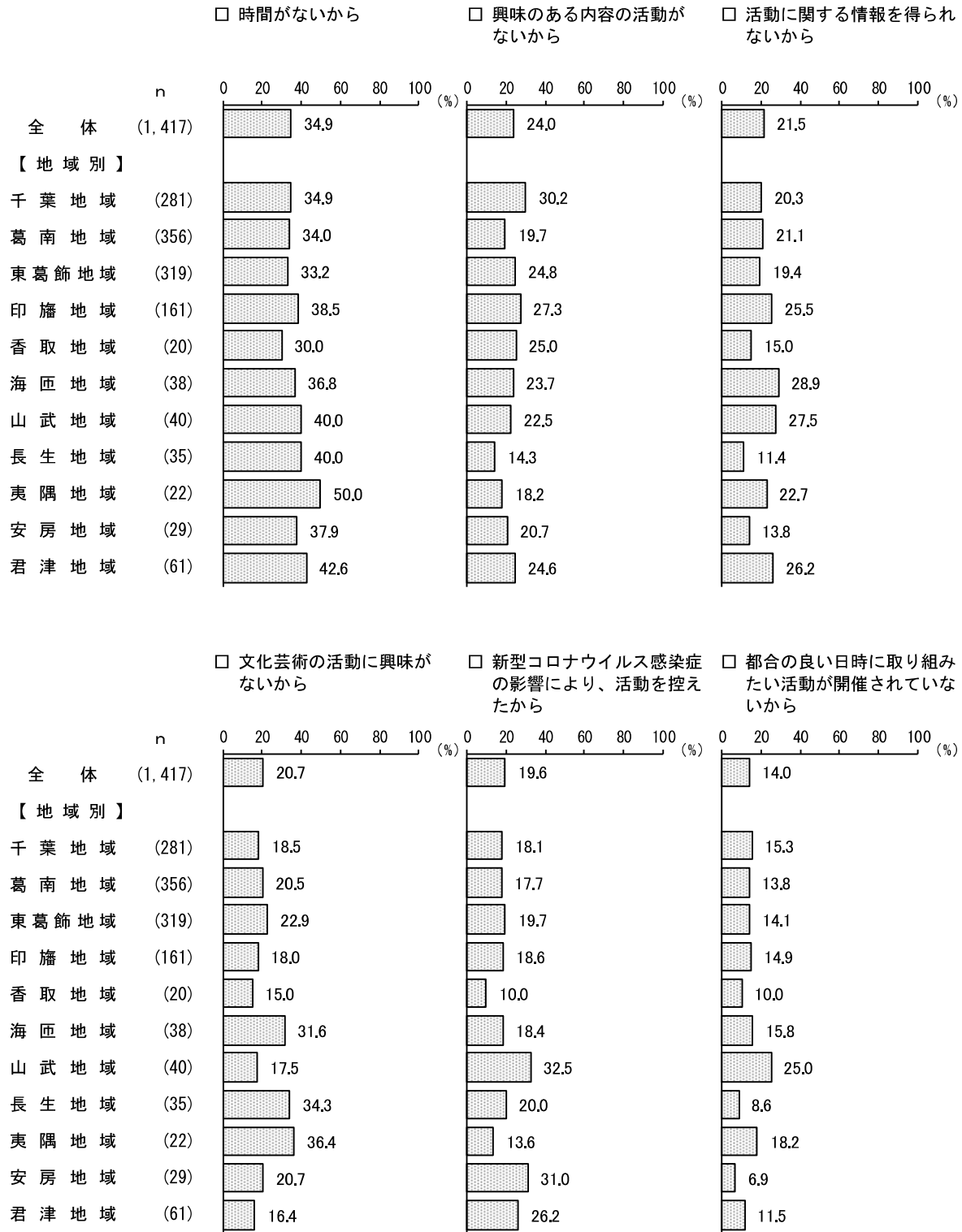
【性・年代別】

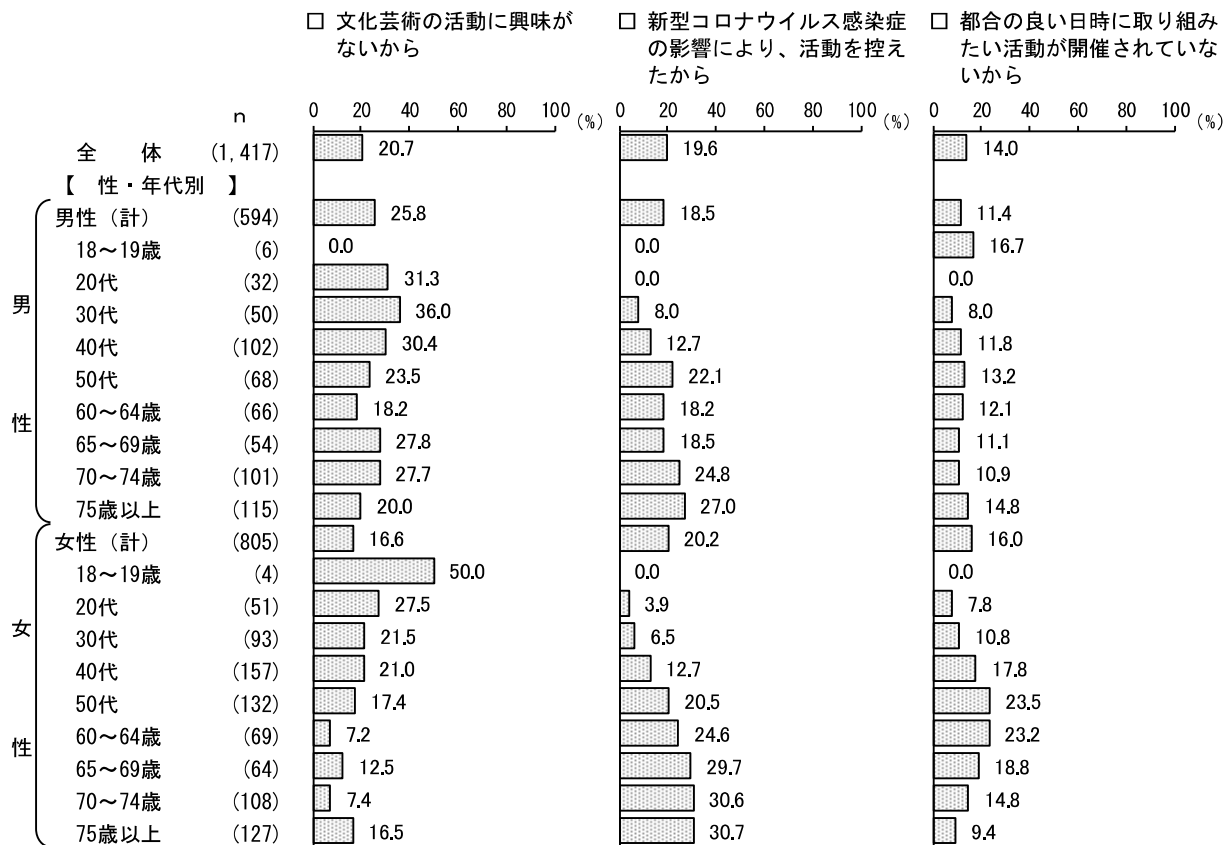
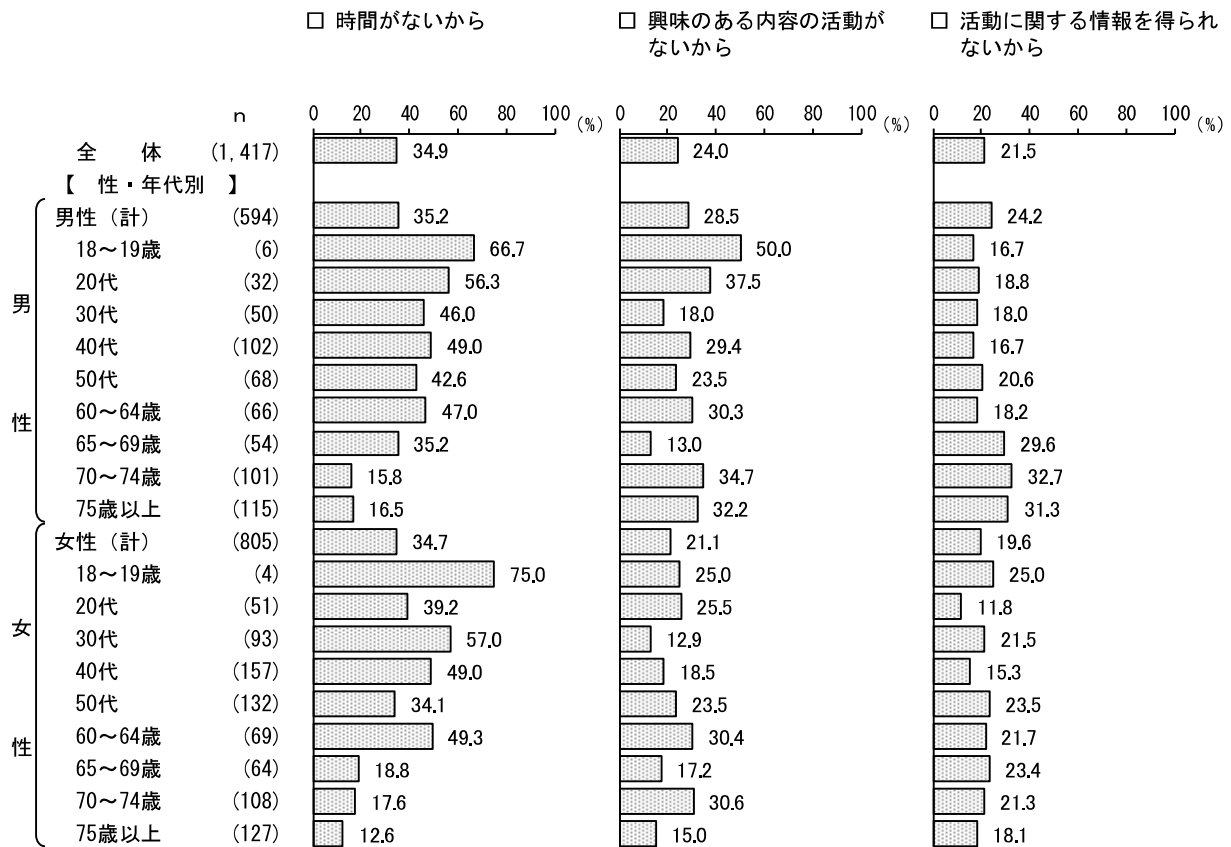
性・年代別にみると、「時間がないから」は女性の30代(57.0%)が約6割、男性の20代(56.3%)が5割台半ば、女性の60～64歳(49.3%)、男性の40代(49.0%)、女性の40代(49.0%)、男性の60～64歳(47.0%)が約5割で高くなっている。

「興味のある内容の活動がないから」は男性の70～74歳(34.7%)が3割台半ば、男性の75歳以上(32.2%)が3割を超えて高くなっている。

「活動に関する情報を得られないから」は男性の70～74歳（32.7%）と男性の75歳以上（31.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表1-38）

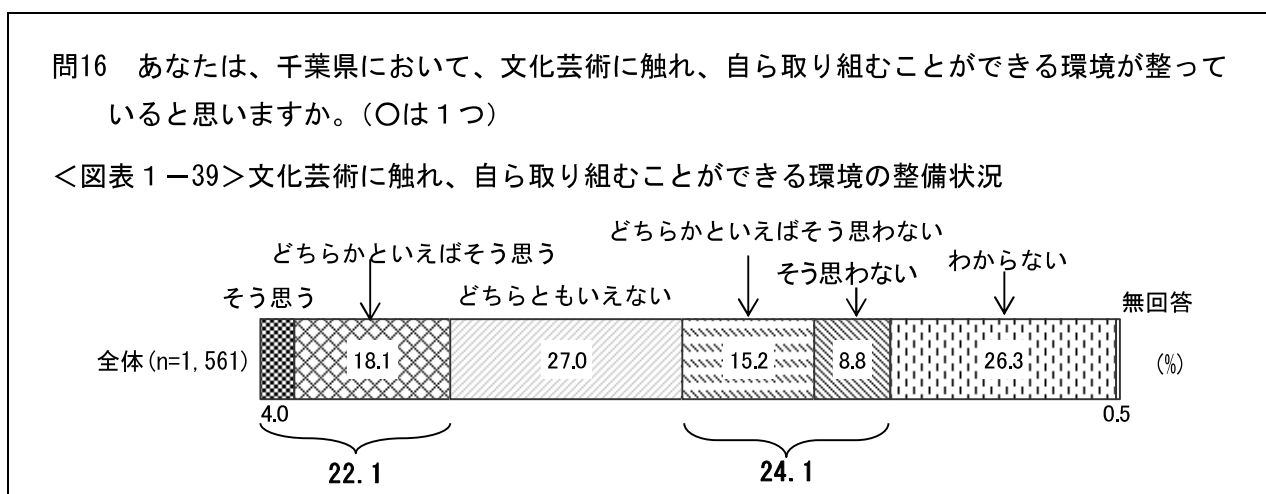
<図表1-38>文化芸術活動をしなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





(16) 文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況

◇『そう思う（計）』が2割を超える



千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.0%)と「どちらかといえばそう思う」(18.1%)を合わせた『そう思う(計)』(22.1%)が2割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.2%)と「そう思わない」(8.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(24.1%)が2割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」(27.0%)が約3割となっている。(図表1-39)

〔参考〕令和4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

	n	そう思う (計)	そう思わない (計)	無回答 またはどちらともいえない またはわからない
令和4年度調査	(1,591)	19.7	24.1	56.2
令和5年度調査	(1,561)	22.1	24.1	53.8

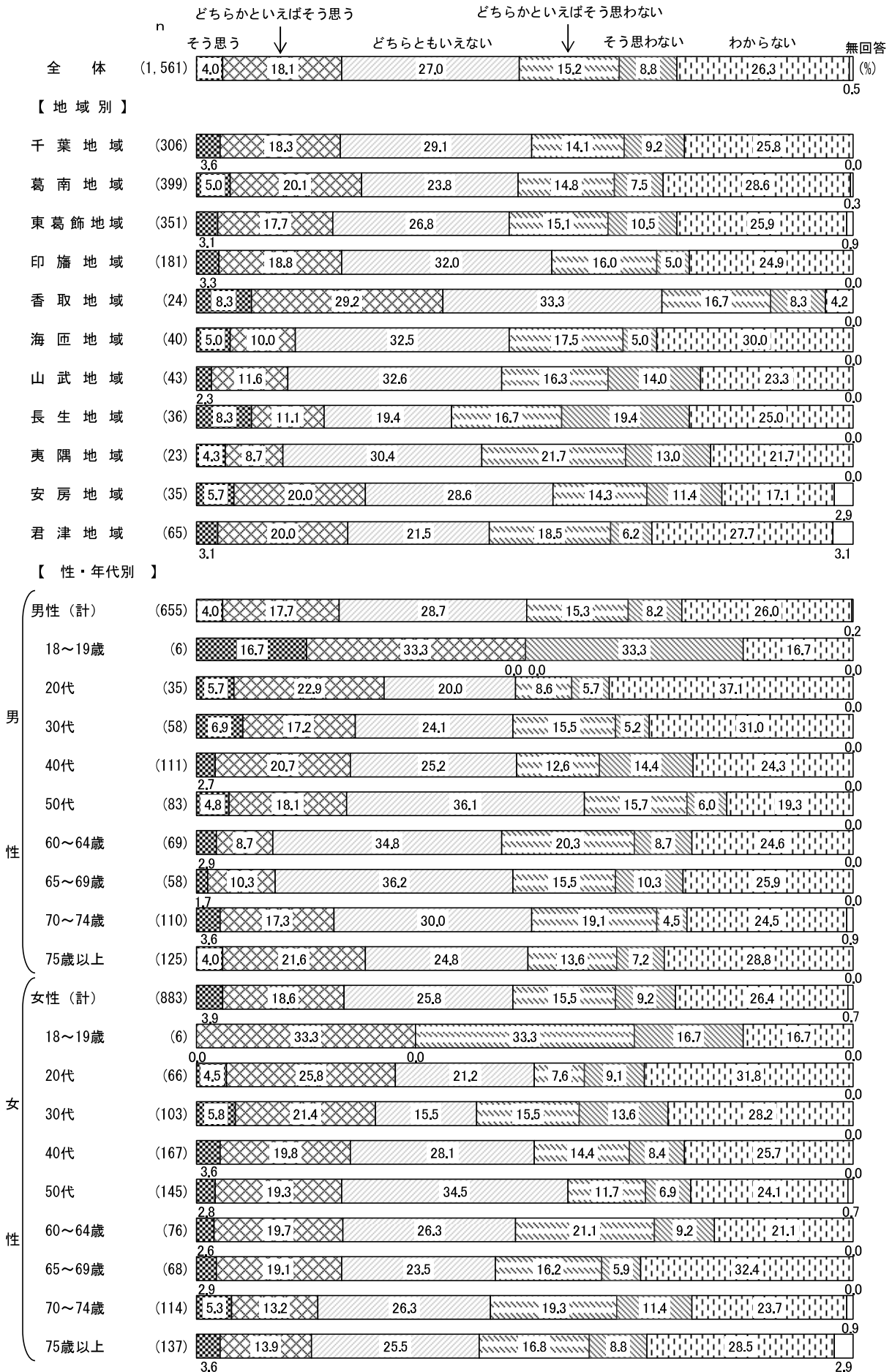
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。(図表1-40)

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いは見られない。(図表1-40)

<図表 1-40>文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況/地域別、性・年代別



13 県政への要望

（1）県政への要望

◇「災害から県民を守る」が4割

問43 県政全般について、今後特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表13-1＞県政への要望（3つまでの複数回答）



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

(※1) 令和4年度調査では、「施策実現や地域活性化のためのICT(情報通信技術)の利活用をすすめる」

(*)DX=デジタルトランスフォーメーション

（1－1）各政策への具体的な要望

問44 問43で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問43で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

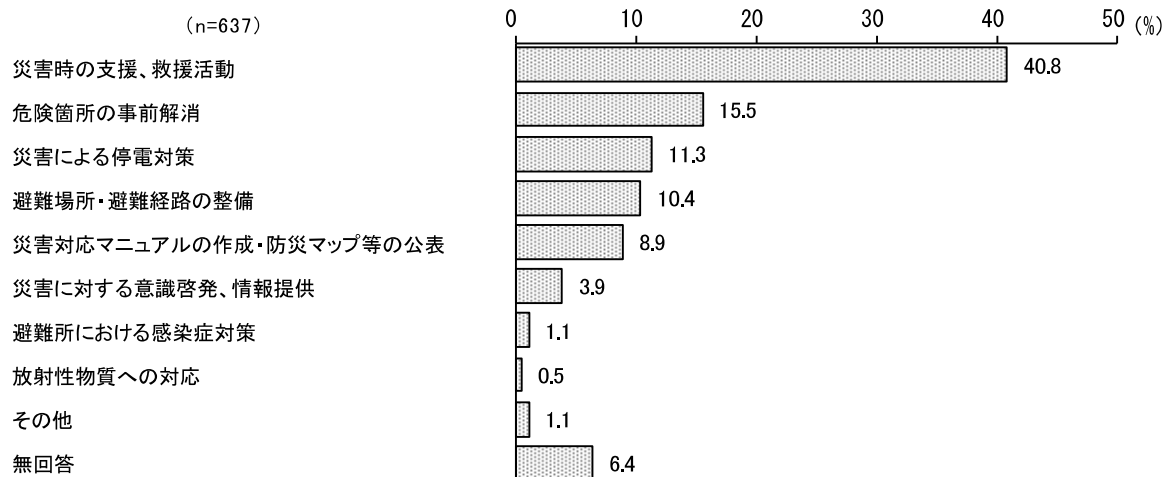
問43で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問43の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを示す。

1 災害から県民を守る（40.8%、1位）

「災害時の支援、救援活動」（40.8%）が4割で最も高く、以下、「危険箇所の事前解消」（15.5%）、「災害による停電対策」（11.3%）が続く。

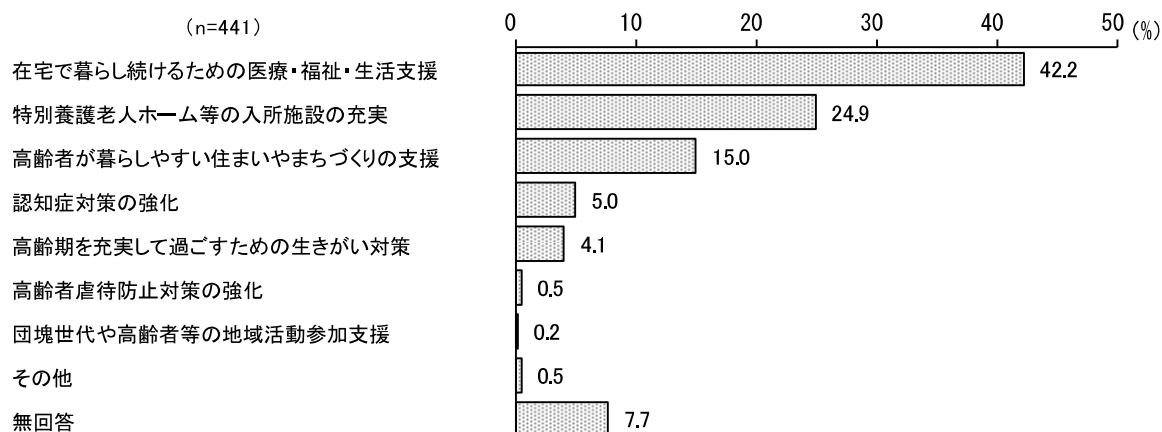
＜図表13－7＞災害から県民を守る



2 高齢者の福祉を充実する（28.3%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（42.2%）が4割を超えて最も高く、以下、「特別養護老人ホーム等の入所施設の充実」（24.9%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（15.0%）が続く。

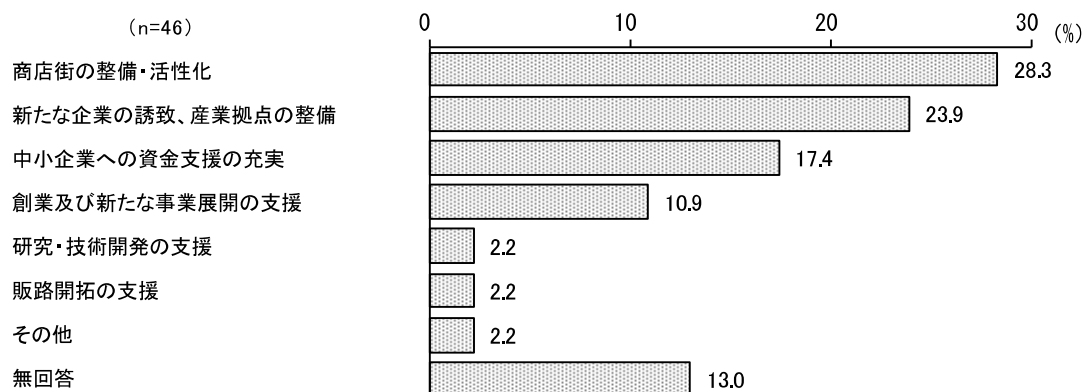
＜図表13－8＞高齢者の福祉を充実する



29 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する（2.9%、29位）

「商店街の整備・活性化」（28.3%）が約3割で最も高く、以下、「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（23.9%）、「中小企業への資金支援の充実」（17.4%）が続く。

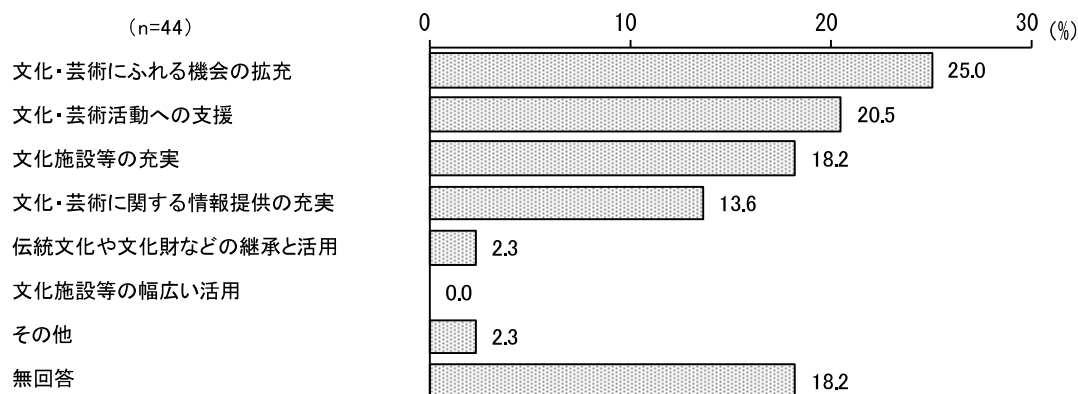
＜図表13-35＞商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する



30 芸術・文化活動を振興する（2.8%、30位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（25.0%）が2割台半ばで最も高く、以下、「文化・芸術活動への支援」（20.5%）、「文化施設等の充実」（18.2%）が続く。

＜図表13-36＞芸術・文化活動を振興する



31 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.6%、31位）

「学習機会の充実」（22.5%）と「施設の整備・充実」（22.5%）が2割を超えて最も高く、以下、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（20.0%）が続く。

＜図表13-37＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する

